

那珂川の整備による安全・安心で豊かな都市づくり

— 洪水被害の軽減や水辺の利用者数の増加に寄与 —

那珂川の堤防整備等により、家屋の浸水件数が大幅に減少するなど、洪水被害の軽減に寄与。

那珂川の整備により、平成23年洪水では、昭和61年洪水に比べて家屋の床上・床下浸水件数が9割以上減少するとともに、県民の生活を支える水戸市公設地方卸売市場も洪水被害から守られました。

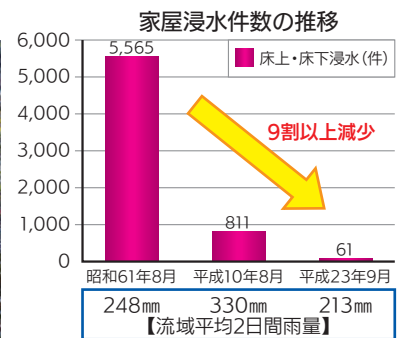
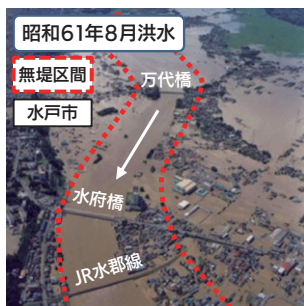
また、那珂川の流下を阻害していたJR水郡線橋梁や水府橋の架替により、水戸市内の洪水被害が軽減され、洪水時に発生していたJR水郡線の運行停止も解消されました。



水戸市公設地方卸売市場を洪水被害から防御

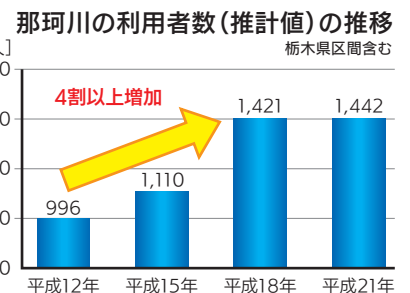


洪水時に発生していたJR水郡線の運行停止が解消



那珂川※の散策路や広場等の水辺整備により、利用者数が10年間で4割以上増加
水戸ホーリーホック(J2)の公式練習場としても利用。

※支川の桜川含む



▲那珂川の河川敷で練習に励む水戸ホーリーホックの選手たち

「感謝」の言につきます。

河川敷グラウンドでは週6日程度練習しています。水戸駅に近いということもあって車を持たないファンたちも来場しやすいのではないのでしょうか。勝っているときも、負けているときも練習場まで来ていただくファンからの温かい声援は心強い限りです。グラウンドコンディションについては、河川敷なので多少の凹凸がありますが、これだけ広大な敷地を練習グラウンドとして利用できるのは大変ありがたいことです。周辺には商業施設もなく静かな環境なので練習に集中できるのが何よりの財産です。



水戸ホーリーホック
背番号10
船谷 圭祐氏

広大な敷地の「河川敷グラウンド」に感謝